



済生会
だより

のらしな

No.13 2010.新春号



Contents

- 前立腺がんの話し
- 臨床栄養科だより
- 病児保育のご案内
- 糖尿病講座のご案内

今号の紹介

当院の病後児保育
「キッズケアルームなでしこ」の
スタッフの作品です。

病院の理念

患者さんの権利を尊重し、共に考える良質な医療の提供、すなわち患者さん指向の医療をめざし、もって地域住民の健康と福祉の増進に努めます。

病院の基本方針

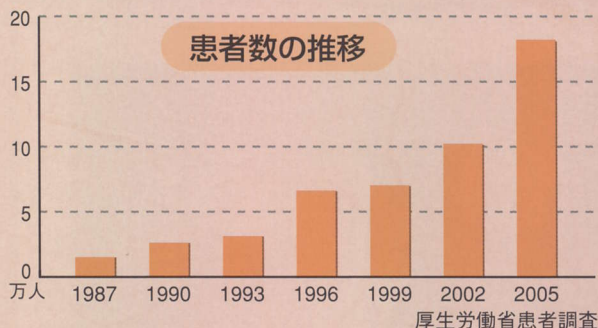
- ・職員が誇りを持ち、患者さんが満足・安心できる効率的な医療の提供に努めます。
- ・すべての診療情報を患者さんにお伝えします。
- ・信頼される医療を行うために研修、研鑽をいたします。
- ・地域の医療機関との連携のもとに中核病院としての役割を果たします。

前立腺がんの話し

泌尿器科医長 三上 和男

急増する患者数

前立腺がんは、世界的に罹患率の高いがんで、一般的には欧米人に多く、アジア人には少ないとされてきましたが、日本でも食生活の欧米化とともに1990年頃から急増し、近年最も増加傾向の著しいがんの一つです。



その要因としては、一つには、高齢化社会の進展が挙げられます。前立腺がんは、45歳以下での発症はまれで、50歳以降に発症するケースが多く、その割合は年を追うごとに増加します。

二つには、血液中のPSA（前立腺特異抗原）と呼ばれる腫瘍マーカーの量を測ることにより、前立腺がんの早期発見が可能になったことも挙げられます。近年、健康保険組合などで実施される人間ドックや生活習慣病健診などに、PSA検査が取り入れられることが多くなっています。

診断と治療

PSA検査には、多くの検査方法がありますが、通常は4ng/ml以下が正常値です。PSAの上昇に比例してがんの発見率が高まりますが、一般的に4～10で約25%、10～20で40%程度、50以上では90%以上でがんが見つかるといわれています。PSAが正常値を超えている場合には、直腸診（前立腺の大きさ、硬さなどを診察する）、超音波検査（前立腺内部の異常を検査する）を行います。前立腺がんが疑われる場合には、超音波で前立腺を観察しながら6～8か所に針を刺して組織を採取し、がんの有無を検査（針生検）します。

組織検査でがんと診断されると、がんの悪性度も併せて確認します。また、がんがどの程度進行しているか調べるため、CTスキャン、MRI、骨シンチグラムなどの検査が行われます。

前立腺がんの治療には、ホルモン療法、手術療法、放射線療法などがあります。どの治療法を推奨されるかはがんの悪性度、進展度（病期）や患者さんの年齢、全身状態等により決定されます。

早期発見こそが最大の予防法

前立腺がんの原因としては、遺伝的要因や加齢に伴うホルモンバランスの変化、動物性脂肪の摂り過ぎなどいくつかの要因が指摘されていますが、明らかな因果関係は判明していません。食生活の改善くらいしか効果的な予防法はないというのが現状ですが、前立腺がんは、肺がんや消化器がんなど他のがんと異なり、がんの進行がゆっくりしていることが大きな特徴です。また、前立腺がんの早期にはほとんど自覚症状は現れません。前立腺肥大症を合併している場合に、尿が出にくい、尿の回数が多い、残尿感などの排尿障害の症状が現れますが、がんが進行して血尿や骨転移に伴う腰痛などでがんが発見される場合もあるのです。

前立腺がんは、簡単なPSA検査で早期発見が可能な病気です。この早期発見こそが最大の予防法といえるでしょう。50歳を過ぎたら症状がなくても、年に一度はPSA検査を受けられることをお勧めします。

泌尿器科のご案内

当院の泌尿器科は、3名の日本泌尿器学会専門医・指導医が豊富な経験と実績に基づき、前立腺がんや膀胱がん、腎臓がんといった各種がん治療を始め、前立腺肥大症の治療や尿失禁等の治療も行っています。前立腺がんの確定診断には針生検が必要ですが、当科では安全性を考え、入院で施行しています。また、前立腺がんと診断された場合には、その病期により適切な治療法を提示し、患者さんと相談のうえ治療法を決定しています。病院内環境として根治的な手術療法、放射線療法、ホルモン療法を行える技術と設備が整っており、安心して受診していただけます。



泌尿器科医長 三上 和男

病児（病後児）保育のご案内

お子さんが病気の時には、子供のそばについて看護してあげたいと思うのは、お母さんの共通の思いです。でも仕事の都合でどうしても休めない、大事な用事で外出しなければ！ このような困った経験はありませんか？

当院の病児保育室「キッズケアルームなでしこ」は、習志野市の委託を受けて、平成17年6月に開設し、地域における子育て支援のお手伝いをさせていただきます。

「キッズケアルームなでしこ」では、専任の看護師と保育士が病気のお子さんをお預かりし、病状や年齢、性格等に合わせて真心を込めた看護・保育を行っております。また、当院の小児科外来とも密接に連携し、病状の変化にも適切に対応いたしますので、安心してご利用いただけます。

お子さんが病気になってしまった時、両親が仕事の都合や病気、事故、出産、冠婚葬祭など家庭の事情で保育が困難な場合には、是非当院の病児保育をご利用ください。

なお、ご利用にあたっては、事前登録と予約が必要です。



対象疾患 かぜなどの日常見られる疾患や水痘などの感染性疾患、喘息などの慢性疾患、骨折などの外傷性疾患

対象年齢 生後57日～満9歳（小学校3年生）

保育時間 ・月曜日～金曜日 8:00～18:00
・土曜日 8:00～13:00
（土曜日の保育は、前日にお預かりしたお子さんに限ります。）

保育料 ・習志野市在住のお子さん ……2,000円/日
（所得に応じて負担軽減あり）
・その他のお子さん ……3,500円/日
・別途昼食代400円/日を頂きます。

お申し込み、お問い合わせ
TEL 047-473-7872（平日8:30～18:00）

糖尿病講座のご案内

当院では、2ヶ月に1回糖尿病講座を開催しております。6回シリーズで参加費は無料です。

シリーズ途中から参加されても理解できる内容となっておりますので、是非ご参加ください。

当講座は予約制になっております。

開催日は、事情により変更する場合がありますので、ご来院前にご確認ください。



1月の講座

日時 1月22日(金) 14:00～
場所 当院8階講堂
テーマ 糖尿病と運動療法について
糖尿病の運動療法の実際
嗜好品と消費エネルギー

3月の講座

日時 3月26日(金) 14:00～
場所 当院8階講堂
テーマ 糖尿病Q&A
グループワークと患者交流会

お申し込み・お問い合わせは、内科外来まで

発行／千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1 TEL 047-473-1281(代) FAX 047-478-6601

ホームページ <http://www.chiba-saiseikai.com>